

氏名	木 村 不二雄
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 296 号
学位授与の日付	昭和43年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	気管，気管支整形術に関する実験的研究
論文審査委員	教授 砂田 輝武 教授 田中 早苗 教授 児玉 俊夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胸部気管，気管支全周欠損の広範なものに対して強固性のあるポリプロピレンのメッシュ管を作製し，メッシュ管を気管，気管支の断端外側部にポリプロピレンモノフィラメント糸で縫合固定を行ない，メッシュからの空気洩れの防止及び組織侵入の助長をはかるために，有基縦隔胸膜，心嚢膜又は自家小腸粘膜下層で被覆を行なった。又メッシュの中央部に於ける結合織の異常増殖による狭窄を防止するため，メッシュ管より1～2cm長いテトロール又はポリプロピレン管を内管として挿入し，4ヵ月後に気管支鏡下にこれを除去し中央部狭窄を防いだ。次に Transthoracic Tracheostomy の実験を行なった。分岐部より約1.5cm口側で気管を切断し，蛇腹型ポリエチレン管又はテトロールを肺側断端に挿入固定し，右側胸部に出して呼吸を行なわせた。又ポリプロピレンモノフィラメントを肺結核，膿胸，気管支痿患者の気管支縫合に用いて臨床的にも好結果を得ている。

(昭和43年8月 日本胸部外科学会雑誌 第16巻，第8号に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は気管，気管支，成形術について実験的に研究したものであるが，従来十分確立されていない気管，気管支の手術とくに適切な高分子化合物の応用について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。